



熊本信愛善哉会
熊本市上林町3-18
TEL354-5355(代)
印刷 橋本印刷
TEL(0968)38-2020



会長挨拶
善哉会会長 宮崎マサ子

同窓生の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、会員の皆様には同窓会の活動に温かいご理解と多大のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

平成十三年度より続けて、本年度も同窓会活動目標「同窓会の輪を広げよう」を挙げ、本部役員一同微力乍ら精一杯務めさせていただきます。

年一回、支部長会を開き、本部と支部、各支部の相互の情報交換を行ったり、親睦を図ったりして輪が広がるように努めております。

秋には、母校の華秋祭(文化祭)に参加し、同窓生の作品展示やバザーを行っております。当日には、還暦学年に当たる会員の皆様を招待して益々発展していく母校を紹介しております。

会員の皆様は、創立者メール・ボルジア先生のキリスト教に基づく「愛と奉仕」の精神、校訓の「聖く、明るく、美しく」の教育方針のもとで教育を受け、一人の人間として女性として妻として母として、社会に家庭に役立つ生活を送っていられる事と信じております。

昨年、坂東眞理子先生著の「女性の品格」が百五十万部も売れ、大評判となりましたが、著書の中にある事柄は、信愛で学んだ私達同窓生には当たり前の事柄ばかりだったと感ずります。



春高バレーボール大会

二十二年連続出場
ど奮闘祈る!!



とあります。

私達が学んだ信愛の快い挨拶そのものではないでしょうか。長い歴史の中で培われてきた伝統の快い挨拶は、卒業生ばかりでなく、今も在校生に引き継がれています。

次に二つ目は、「愛されるより愛する女性になりましょう。」とありました。信愛の女子教育そのものだと思います。

愛と奉仕の精神を行動で示すことを学びました。社会人になっても家庭に入っても目立たない小さなことでも奉仕の心を実践することが、社会を支え、回りの人達への光となつて社会への貢献につながると思います。

現代の社会が大きく変わり、伝統的な道徳が通用しなくなり、多くの子供達の心がすさんでいる今こそ、学力向上や女性として豊かな心の育成や社会に貢献する人間の育成に努め、熱心に教育活動が行われている女子校「信愛女学院」の存在が求められているものと確信しております。

少子化と男女共学志向にある現在、一人でも多くの女子生徒さんを母校への入学に勧めて下されば幸いに思います。

最後にになりましたが、皆様のますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げて挨拶といたします。



昨今の教育
理事長 中原 博明

昨年、教育の憲法とも言うべき「教育基本法」が六十年ぶりに改正され十九年より実施されたが、戦後の我が国の発展の基礎となつた事にまちがいはない。教育水準は向上し、社会は大きく発展し、私達の生活を豊かにしたのも戦後の民主主義を柱としたのも教育であった。

しかし、時代の流れやグローバル化は、情報化、国際化、さらには少子高齢化へと発展し、教育を取りまく状況も大きく変化してきた。私達熊本信愛女学院も例外ではなく、百年続いた今、大きく影響を受けている。特に人間の多様化と、価値観の違い、さらには、少子化に伴う生徒数減等、今までに経験したことのない嵐に見舞われている。



創立者を偲びつつ
信愛女学院校長 二平 京子

善哉会の皆様には日々ご健勝にてお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

先日、前理事長シスター村田初子より創立者メール・ボルジア先生についてのお話を感慨深く伺いました。メールの来日は禁教令が解かれて間もない一八七七年。その時の彼女は二十七歳、シスターになつて僅か三年目の時でした。

「日本でも働く事を神様のご命令と悟りました」と妹様への永別の便りに記したメール。家族を失つた幼い子どもたちのために野菜を作り、山羊や豚や牛も飼つたというメール。養育費捻出のためには機織りに励み、フランス本国に寄付依頼の手紙を書き続けたメール。また、病に倒れてからも、たとえ五分

特に価値観の違いから学校に対する考え方、たとえば、先生に対する感謝や期待感、一方道徳規範の乱れ等、理解に苦しむ事が多くなつた。

社会全体が自己中心的考へになつた今、貴女達が受けられた信愛教育、すなわち「豊かな心を持つた女性」「社会に貢献する人間づくり」等、キリストの教えに根ざした教育観が次第に薄れて来た事は、大変残念な事ですが、これも時代の流れと言つてしまえば終わりです。

でもと杖を突き同窓会の席に臨まれたメール。病状悪化のため長崎の本部に戻つてからも「最期は熊本で」との強い願いから帰熊されたこと聞き及んでいます。

昨今、混乱する教育の現場には少子化の波までもが否応なく押し寄せて参ります。しかし、創立者の揺るがぬ信念と、教育への熱い思いを偲ぶ時、彼女が「神様のご命令」と確信し、命懸けで取り組んできた教育活動の継承、発展のため、微力ながら粉骨砕身して参りたいと思ふこと頻ります。

さて、今春も、創立者の祈りを受け、二五七名の生徒たちが学び舎を巣立ちました。学院の mottoである「愛と奉仕」の精神を身に纏い、「地の塩、世の光」として其々の人生を逞しく歩んでほしいと心から願っておりますが、まだまだ未熟な卒業生たちでございます。どうぞ折りある時には、学院共々ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓生の皆様の止に神様の変わらぬ祝福を心よりお祈りいたします。

名簿・発行

本年同窓会は、十年毎に同窓会名簿発行となつており、本年度はその年に当たりましたので改訂を行いました。

表紙の絵と文字は、プロとして活躍していらつしやる高木悠深先生(昭和四十五年普通科卒業の同窓生)にお願ひしました。信愛らしく善哉の絵と先生の書の優しい文字で上品な表紙が出来ました。

楽しい名簿を提供することが出来ればと新しい企画を入れました。

販売に当たっては、出版前に申し込みをいただいたり、完成後、出版社に依頼して電話販売を行つたりしましたが、約三千名の会員の皆様ご購入してくださりました。心よりお礼申し上げます。

今後、購入希望される方がいらつしやると思ひますが、本部に百冊余り残しておりますので、ご希望の方はご連絡下さい。今回の名簿で、同窓会の輪が広がればと願つております。



支部設立

同窓会や学校からのお知らせが、確実に、速く、多くの同窓生の方々に届くように熊本県下に支部を設立してまいります。

また、各支部では、地域単位で同窓生の親睦をはかり楽しく活動してまいります。

皆様の参加を心よりお待ちいたしております。

善哉会会長 宮崎マサ子
支部長 柴田 治美

支部長 里内 ハマ子
支部長 内田 道子
支部長 高見 伸代

支部長 長野 敏子
支部長 松本 恵美子
支部長 松下 玲子

支部長 寺本 とし子
支部長 中央 A 地区 支部
支部長 松崎 幸子

支部長 船元 恵美子
支部長 高木 千景
支部長 山城 俊子

支部長 村上 栄子
支部長 田中 美智子
支部長 御法 順子

※支部が設立されていない地区も、現在設立の準備をしております。同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

# 還 曆 学 年 会

平成19年10月27日、母校の華秋祭（文化祭）において還暦学年会が行われました。昭和41年3月卒業の47名が母校に集い恩師を囲んで懐かしいひとときを過ごしました。



**還暦学年招待をうけて** 田北 幸子（昭和四十一年卒）

十年前（五十歳）のクラス会時、還暦時に母校に行ってみたね。と言っていたのが現実となり、「還暦学年を華秋祭へ招待」ということで、喜んで出席いたしました。

四十二年振りとはいえ、木造だった寮は五階建てのりっぱな建物になり、当時の体育館が、聖心病院まで広がり、国際試合が出来る「信愛アリーナ」が建設されており、母校の発展を目前にしてとてもうれしく思いました。

式典では、薔薇会会長様の経過報告などを聞き、内外共に、頑張っている生徒たちの活動が見えてきました。また、先輩諸姉や役員さんの温かいおもてなしに、昔を思い出して母校に帰ってきたという感じがありました。

「聖く、明るく、美しく」の通り、私達普通科一組はとても明るく、予餞会の時、グループ別に全員が発

表したのがとても好評で先生方からお褒めのことばをいただいたことを思い出しました。

でもその時の先生方は誰もおられず、唯一吉村正美先生に会うことが出来、高校時代の若さに返り話が弾みました。昭和四十一年卒業生、還暦学年四十七名の出席者の顔はそれぞれ素晴らしいものでした。

私達はその後クラス会を行いました。長い年月、それぞれ喜び悲しみを乗り越えて無事還暦を迎えた友の集まりでしたが、現在アフリカでシスターとして難民のお世話をしている友の写真を、頑張っている姿に胸を熱くしました。

今後、毎年クラス会をして元気なようだと約束しました。還暦の節目の年に母校で友と語り合うことが出来、最高の一日を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

信愛女学院と薔薇会の更なる発展をお祈り申し上げます。

# 同窓生訪問

平成二十年版、同窓会名簿の表紙をご覧になりましたか。

名簿の表紙には美しく美しい薔薇の絵と、墨で描かれた毛筆の端正な文字でデザインされています。発行直後より表紙のデザインに心打たれたと、多くの方々よりお褒めの言葉を頂戴しました。

そこで、この度は名簿の表紙を手がけられた書家の高木悠深（ゆみ）様をご紹介します。

高木様は昭和四十五年本校普通科の卒業。二十歳の頃より書道を、三十歳の頃に水墨画を始め、現在は「悠深会（ゆうしんかい）」という書道と水墨画の会を主催されプロの書家として活躍中です。

主な活動としては、作品の制作をはじめとして、展示会の開催、自宅の教室で週に三日ほど指導もされています。悠深会では、段位の取得などにとらわれず、生徒さんの心があるがままに書を楽しむ、ことを大切にされています。

信愛在学中は、美術や音楽などの芸術系に関心があり、特に「書く、描く」ことが何よりも楽しみであったようですが、進学クラスに在籍していたため、芸術系の科目が受けられず残念だったようです。日本中の女子高生がグループサウンズに夢中だった頃、高木様は洋楽に興味を持たれ、とりわけアンディ・ウィリアムズが大好きで、クラスメイトと英語で歌ったりして楽しんだということでした。

自身の好みの色に染めた和服を身にまとい、お



気に入りの香をたき、癒しの音楽に包まれた書の教室は「ストレスがからないように楽しく書に親しむ」という高木様の書に対する姿勢を感じ取ることができました。

「自宅に伺ったのひとときのインタビューでしたが、日常と切り離された心地よい空間の中で、高木様のありのままのお人柄に触れて、心身ともに癒されました。

\*高木様の「水墨画、実用書道教室」のお問い合わせ ☎（〇九六）三七二八三六四

# 支部だより 沖縄支部総会開催



平成十九年九月二十二日、那覇市セントラルホテルで沖縄支部総会が開催されました。

中原理事長先生と昨年退職された窪田正彦先生に同行していたとき、薔薇会本部から会長他、役員五名が参加。沖縄在住の二十一名の同窓生は懐かしい母校の話に花を咲かせ親睦を深めました。

今回の支部総会を機に支部発足以来、支部長として尽力してこられた崎山幸様はご退任され、新たに山城俊子様が沖縄県支部長に就任されました。

# お知らせ

同窓会からのお知らせを本校のホームページに掲載しています。随時新情報を更新していきます。どうぞよろしくお祈りいたします。

ホームページ <http://www.kumamoto-shin-ai.ed.jp/index.htm>

# 編集後記

この度の新聞発行に当たり、快くご協力下さいました方々に、心より厚く御礼申し上げます。これからも同窓会の輪を広げていきたいと思っております。情報等ございましたらお知らせ下さい。今後共、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集委員一同

# 訃報

本校商業科に昭和四十年から平成十三年まで在職されました池田進先生が平成二十年一月二十五日急逝されました。六十七歳でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

# ボルジア先生のお墓参り

平成二十年一月二十六日、宮崎会長と磨井副会長は母校の創立者メーブル・ボルジア先生の墓参のため、兵庫県の仁川本部修道院を訪れました。前校長のシスター池尻（現仁川本部修道院管区長）が温かく迎えて下さり厳寒の中ではありませんでしたが、心温まるひとときを過ごすことができました。

